

生涯賃金で
1億円の差

ジェンダー平等すすめる土台

男女賃金格差の是正を

日本共産党

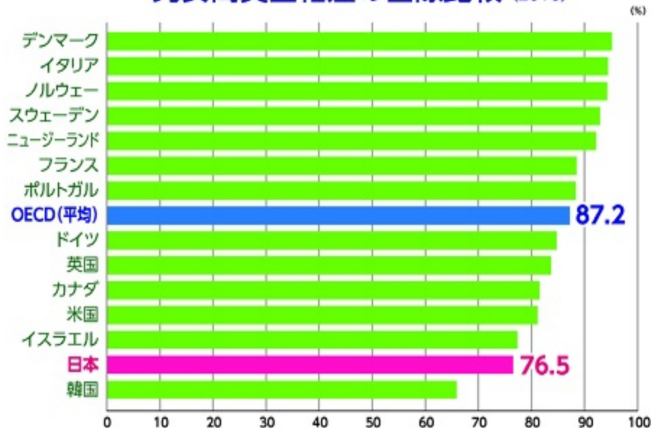
日本共産党の田村智子副委員長(比例代表)は2月25日の参院予算委員会で、男女賃金格差について質問(下の写真)。



勤続年数ゼロで、すでに月4.3万円の賃金格差があると指摘。「政府は、女性は勤続年数が短いから賃金が低いと説明してきたが、実態は違う。どう説明し、是正するのか」と追及しました。



男女間賃金格差の国際比較 (2018)



出典：内閣府提出資料

国際水準から立ち遅れている

さらに田村氏が「将来を理由に、非正規や一般職の賃金が低くてよいのか」とただしたのたいし、厚労相が「わが国の雇用慣行を踏まえたものだ」などと答弁。

田村氏は「これは、国際基準の『同一価値労働同一賃金』ではありえない」「同じ仕事、類似の仕事は同一賃金。これはすべての男女に与えられた人権だ」と述べ、「日本政府の考え方は国際水準から立ち遅れている」「政府の責任が問われる」と強調しました。

ジェンダー平等の日本へ
いまこそ政治の転換を
日本共産党の政策→



2/23桜木町駅前・ジェンダートーク集会
田村智子副委員長(比例)のスピーチ

YouTubeで
ご覧になれます



あさか由香

日本共産党 参議院神奈川

プロフィール●1980年横浜市鶴見区生まれ(旧姓・金谷)。筑波大学国際総合学類卒。民間企業のシステムエンジニアを経て国際運送業に関わる。世界から貧困と紛争をなくしたいと数々のボランティアに携わり、日本共産党に入党。現在、党神奈川県副委員長。家族は夫と子ども3人(10歳・6歳・0歳)。ジェンダー平等の社会実現へ全力。



ライン公式

8時間働けばふつうに暮らせる社会へ



2022年号外 日本共産党の見解を紹介します。



発行 日本共産党神奈川県委員会
住所 横浜市神奈川区西神奈川1-18-12
電話 045(432)2101 FAX 045(432)2103

〔制度解説〕
参議院選挙
の投票方法

比例代表は政党名 (候補者名でも有効です)
選挙区は候補者名 で投票します。